

IoT通信プラットフォーム SORACOM

IoTデバイスが取得したデータの活用における最大の課題は「通信」。IoTプラットフォーム SORACOMは、MVNOとしてデータ通信SIMを提供し、モバイル通信とクラウドを一貫して提供することで、それらの課題を解決します。

課題 IoTに不可欠な「通信」。しかし、従来型の「通信」には課題があります



- 使用場所に制約がある有線LAN、事前設定に難がある無線LAN
 - モバイル通信は、初期投資、通信費が高く、柔軟な契約が難しい
 - 通信の暗号化を実装したいが、デバイスには高負荷
 - 認証情報の個別設定が必須だが、パスワードの変更が手間
 - 通信フォーマットや、通信先を変更することが困難
- ➡ **セキュアな「接続」と「データ送信」が課題**

IoTに最適化された通信プラットフォームSORACOMが課題を解決します

<p>高い持続性でセキュアな 3G/LTE</p>	<p>1日10円からの スモールスタート</p>	<p>1枚でも1,000枚以上でも すぐに調達可能</p>	<p>不要になったら いつでも解約</p>	<p>APIの一括操作で 運用の手間と時間削減</p>	<p>クラウドのセキュリティを 強固に肩代わり</p>
-------------------------------	------------------------------	-----------------------------------	---------------------------	---------------------------------	---------------------------------



データ通信サービス SORACOM Air



ナノ・マイクロ・標準の3種類

データ通信のみ/SMS対応(合計6種類)



Webコンソールで
回線管理ができる

特徴①

簡単にモバイル通信を利用

デバイスにSIMを挿すだけで手軽に始められる
3G/LTEのモバイル通信網を利用

特徴②

IoTに特化した料金体系

データ通信料金は、4つの速度毎の従量課金でリーズナブル
一定の契約数・期間を満たすとボリュームディスカウント有

特徴③

Web、APIで通信をコントロール

Webコンソール/APIでプログラマブルに通信を操作
ユーザが通信を開始・解約、速度変更、まとめて監視・管理

契約事務手数料	954円/回線(SIM)+送料 * Amazon.co.jpの場合 送料込み1,313円
1回線毎の基本料金	使用開始前:5円/1日 使用開始後:10円/1日 利用中断中:5円/1日(変更手数料300円)
データ通信料金	利用総量の従量課金(1MBあたり0.2円~) 用途に合わせた4つの速度プラン、「遅い速度・アップロード・夜間」が安い
SMS機能	1SIMあたり5円/1日、3円/1通

*日本向け Air SIMの料金です

料金体系

利用料金例



位置情報管理
約303円/月
毎分 数百Bの位置データ



決済端末
約350円/月
毎日 1,000決済
(数KB/決済)



デジタルサイネージ
約396円/月
毎晩 新規広告データ
(16MB)



モバイルワーカー
業務用携帯
約480円/月
毎月300MBのデータ通信

SORACOM Airのご利用にあたっては、電気通信事業者法および電波法その他関連法令が定める技術基準に適合する無線通信端末をご利用ください。

SORACOM Airを使い始めるのはとても簡単です

アカウント作成

ユーザーコンソールの利用開始
<https://console.soracom.io/>

SIM購入

ユーザーコンソール、
またはAmazon.co.jpから購入(1枚~)

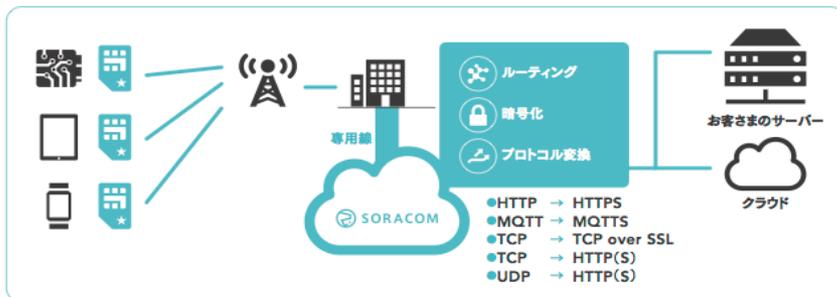
デバイス設定

SIMをセット APN、プロファイル設定

すぐ
利用可能

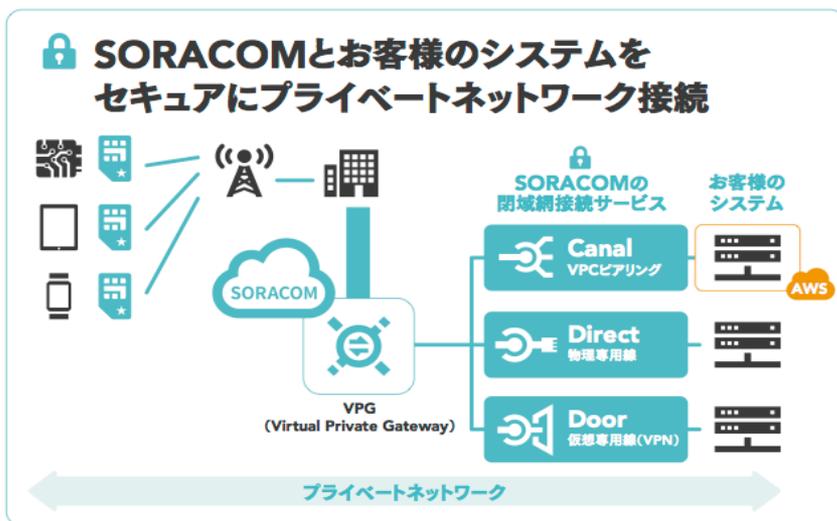
*クレジットカード登録が必要です

<セキュアなIoTシステムをサポートするサービスラインナップ>



データ転送支援サービス SORACOM Beam

- デバイス側の設定を変えずにルーティングを変更
 - デバイスの高負荷処理(暗号化)を肩代わり
 - SIMのIDやタイムスタンプを自動的に付与
- ➡ デバイスごとの設定は一括変更が可能で最小限に暗号化による安全なデータアップロード・ダウンロード



プライベート接続サービス SORACOM Canal

- SORACOMとAmazon VPC上のお客様システムを接続 (Amazon VPC : Amazon Virtual Private Cloud)

専用線接続サービス SORACOM Direct Limited Preview

- SORACOMとお客様のシステムを物理専用線で接続 (AWS Direct Connect: 専用線接続サービス を利用)

仮想専用線接続サービス SORACOM Door Limited Preview

- SORACOMとお客様のシステムを仮想専用線(VPN)で接続
- ➡ 気密性の高いデータでもインターネットを介さずにプライベートネットワークで接続し、データ送信

* いずれのサービスをご利用になる場合もVPG:Virtual Private Gatewayを作成する必要があります

認証サービス SORACOM Endorse

Public Beta

- 強固なSIMの認証を利用 (Wi-Fiオフローディング、多要素認証)
- 利便性を下げずに、認証機能を簡易に実装

➡ SIM認証をデバイスなど他の認証にも活用

クラウドリソースアダプタ SORACOM Funnel

Public Beta

- クラウドサービスに直接データを送信 対応サービス: Amazon Kinesis, Amazon Kinesis Firehose, Azure Event Hubs(Microsoft)

➡ 認証情報とリソース指定だけでクラウド連携を実現

デバイスLAN接続サービス SORACOM Gate

Public Beta

- お客様システムとSORACOM上のVPGを閉域網でつなぎ、VXLAN接続
- デバイスにプライベートアドレスで接続

➡ デバイスへのリモートメンテナンスや、デバイス間の通信が可能

サービス詳細や事例は

<https://soracom.jp>